

AREA WEB

エリアウェブ

峡東教育事務所 教育支援スタッフ(地域教育担当) Tel 0553-20-2731 Fax 0553-20-2733

- 主な記事・紹介校・団体
- ・教育事務所長寄稿・甲州市生涯学習市民協議会
 - ・金川の森パートナーズ ・たんぽぽこども園
 - ・山梨ことぶき勸学院 ・山梨県立博物館
 - ・甲州市塩山B&G 海洋センター
 - ・山梨市図書館



立夏を過ぎ、新緑からあざやかな深緑の季節へと移ってまいりました。今年度も4月の準備期間、ゴールデンウィークを経て、本格的な行事や事業が展開されていることと思います。皆様には、日頃から峡東教育事務所の業務に対しご理解とご協力をいただき、心より感謝を申し上げます。

さて、皆様には、毎週あるいは毎日必ず観るテレビ番組はあるでしょうか？私は、「笑点」を観ないと月曜日を迎えられません。今年1月には「大喜利」メンバーの入替がありました。また、2月からはリハビリ中の大ベテランに代わり毎回ゲストが出演しています。55年の歴史のある国民的番組も続けていくための努力を絶えずしています。

県教育委員会では令和4年度組織改編を行いました。県総合教育センターの相談支援部が相談支援センターに改められ、市町村教育支援センターの支援に関する業務を行います。高校改革・特別支援教育課を特別支援教育・児童生徒支援課に改め、特別支援教育といじめや不登校、ヤングケアラー等生徒指導上の諸課題に関する業務を行います。さらに、総務課に教育企画室が置かれ、教育行政に関する基本的事項の総合的な計画、調査・企画をはじめとする業務を行います。県下4つある教育事務所でも、これまでの地域教育支援及び学校教育スタッフが、教育支援に統合されました。そのため教育支援スタッフはいずれも「指導主事」となりました。

そんな中、峡東教育事務所は、17名の職員が、山梨県の教育の基本理念「学び続け 共に生き 未来を拓く やまなしの人づくり」の下、それぞれの立場で事業を展開してまいります。組織やメンバーが新しくなることが、本来の事業の目標達成につながっていくよう、私たちの組織でも絶えず工夫をしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

「笑点」「大喜利」の新メンバー桂宮治さんは、小学校で子供たちに落語の楽しさを教える授業をしています。宮治さんが、おそばを食べているところを見せると、子供たちから笑い声。宮治さんは「落語のすごいところは何か」といって、実際のモノを使わないでしょう。みんな一人一人の想像力で見てもらいます。だから日常生活ではできないことができるようになります」と。宮治さんがさらに現実にはない方法でそばを食べると、子供たちは大爆笑。「私がすごいんじゃないって、みんなに想像力があるからそう見えるんだよ」と宮治さんは子供たちに話しました。

新しさは、すべてが良いというわけではなく、新しさによって、何を与えるのか、何に気づかせるのか、そして何をどう生かすのかが大事だと思います。宮治さんが、子供たちの心をつかみ、想像力をかき立てたように、私たち峡東教育事務所もそれを示していかなければならないと思っています。



昭和63年に敷島中学校教諭として教壇に立つ。現場の教頭、義務教育課管理主事を経て令和3年度から峡東教育事務所に勤務。趣味は庭造り。

PDF版をご覧ください

『エリアウェブ』はPDFのカラー版を峡東教育事務所のホームページで掲載中です。右のQRコードをスマホのカメラから読み取り、ホームページを開けます。是非ご覧ください。

ホームページアドレス

<https://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-nyrn/chiki/backnumber.html>



エリアウェブ
ホームページ

峡東教育事務所 地域教育推進事業について

【主な業務】

- ① 峡東地域教育推進連絡協議会の運営
- ② 地域教育情報誌「エリアウェブ」の発行
- ③ 保幼・小・中・高・特支・大学の連携推進
- ④ 成人教育の推進（山梨ことぶき勸学院他）
- ⑤ 子育て・連携・人権に関する講演会の開催
- ⑥ 青少年教育の推進（やまなし少年海洋道中他）
- ⑦ 異校種間授業参観や県立学校からの出前講義の推進
- ⑧ いきいき教育地域人材活用推進事業
- ⑨ ふるさと山梨郷土学習コンクール

【スタッフ】

○ 教育支援スタッフ（地域教育担当）

主幹・指導主事 渡辺 政子 & 主幹・指導主事 藤森 一樹

これまでの活動を引き継ぎ、「家庭・地域・学校の繋がり」を大切にしたいと考えています。指導主事は都道府県及び市町村の教育委員会に置かれる専門的職員ですので、地域教育に関わること相談等があればお声がけください。みなさまのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

○ スクール・ソーシャル・ワーカー（SSW）

森永 敦子 & 深澤 真澄 & 佐藤 美弥

今年度も管内の児童・生徒の問題解決を支援するために、3名のSSWがサポートします。本年度は1名増員になりました。何かあったら一人で悩まず、お気軽にご相談ください。



令和4年度 峡東地域教育推進連絡協議会 事業計画(案)

1 『総会』

日時 令和4年7月7日（木） 午後2時～2時40分
会場 いちのみや桃の里ふれあい文化館 多目的ホール
内容 峡地連の組織、事業報告、事業計画、会則、その他

2 『子育て講演会』（笛吹市教育委員会共催）

日時 令和4年7月7日（木） 午後3時～5時（総会終了後）
会場 いちのみや桃の里ふれあい文化館 多目的ホール
内容 「愛着の問題を乗り越えて～自己肯定感を育む親子関係～」
講師 チーフスクールカウンセラー 保坂 三雄 先生

3 『保幼・小・中連携セミナー』（山梨市教育委員会共催）

日時 令和4年8月23日（火） 午後3時～5時
会場 山梨市民会館 ホール
内容 「発達段階に応じた子どもとの接し方～クソガキ問のすすめ～」
講師 公認心理師・臨床心理士・臨床動作士 Eustress 株式会社 代表取締役 一瀬 英史 先生

4 『人権のための講演会』（甲州市教育委員会共催）

日時 令和4年11月24日（木） 午後3時～5時
会場 甲州市民文化会館（甲州市中央公民館）ホール
内容 「人権・地域・教育の課題としてのSDGs」（仮）
講師 都留文科大学教養学部地域社会学科准教授 富永 貴公 先生

5 『実務者会』（実務者のみ参加）

日時 令和5年2月3日（金） 午後3時30分～4時30分
会場 東山梨合同庁舎 103会議室
内容 峡地連活動総括と来年度の計画について

講演会・セミナーは新型コロナウイルス感染症の感染状況により、実施形態が変わる可能性があります。工夫して実施してまいりますので、ご協力をお願いいたします。

故郷の魅力を伝える生涯学習推進大会 甲州市生涯学習市民協議会

甲州市では毎年、甲州市民文化会館のステージで生涯学習推進大会を開催しています。例年では小中学生の意見発表、各公民館による童謡・叙情歌の合唱の披露などが行われますが、今年はコロナウイルス感染症拡大防止のため小中学生の発表と、童謡コンサートのみをCATVが録画し、各家庭に配信する方法で実施されました。

小中学生の発表では、玉宮小の 楠 龍志さんが「みんなに伝えたい



発表する玉宮小の児童



甲州市民文化会館でのコンサート

玉宮のよさ」、塩山北中の 田邊 一穂さんが「甲州市巡りを通して～今に伝わる、地域の歴史」という題でスライド映像を交えながらそれぞれの視点で発見した故郷の魅力を伝えました。また、童謡コンサートで童謡歌手である 若林 秀和氏とピアニストの八谷 晃生氏の息の合った演奏が録画されました。



発表する塩山北中の生徒

若林氏は、コロナ禍の家庭で視聴する市民をイメージして選曲した「故郷」や「家族」がテーマの童謡や歌謡曲を熱唱しました。

森の恵み教室 & 生きもの博士養成講座 cowshi 金川の森パートナーズ

笛吹市にある「山梨県森林公園金川の森」では、年間を通じて様々な自然体験のイベントを企画・運営しています。2月27日には、株式会社 富士種菌の協力のもと「シイタケほだ木の菌打ち体験」を行いました。スーパーなどの店頭で一年中並んでいるシイタケは、人工的な「菌床栽培」によるものが多いですが、自然本来のキノコは原木に菌で生える、季節感溢れる食材です。富士種菌では、



電動ドリルに挑戦する笛吹市の親子と甲州市の親子

日本の食と農と里山を守ることを理念に「原木シイタケ」の生産に尽力しており、普及活動や生産者支援を行っています。参加者らは、林床に光を入れ、幼木を育てるために間伐されたクヌギやコナラの原木にドリルで穴をあけ、種菌を植えて自宅に持ち帰りました。適切な湿度と温度を維持すると秋には収穫が見込めるそうです。保護者とともに参加した子ども

たちからは「買ってくるシイタケと味が違うのか楽しみ。料理に使ってみたい。」といった感想がきかれました。今回は食用キノコがテーマでしたが、金川の森では秋には敷地内に自生するキノコ観察会もあります。その他にも季節の花や鳥などに焦点を当てた「生きもの博士養成講座」が随時開催されていますので、多くの子どもたちが参加し、身近にある豊かな自然を体感して欲しいと思います。



4月17日に行われた「生きもの博士養成講座（とり編）」渡り鳥についての説明を受け、園内で野鳥観察を行った。

みんなで地球を元気にしよう!!~SDGsを知ることで、自分たちができること~

認定こども園 たんぽぽこども園

たんぽぽこども園では3月4日、小学校入学を間近に控えた年長児に、(有)依田林業の依田 聡美氏を招き、「森と地球温暖化」のおはなし会を行いました。今回は「森と水」のおはなしを



聴いた7月に続く2回目です。依田林業では、森林保全に貢献している林業の更なる発展と未来を担う林業従事者の確保のため、笑顔溢れる子どもたちの未来を創るためには「1人の100歩ではなく、100人の1歩」を伝えたいという思いから、学校や保育園・幼稚園などで「環境と林業のつながり」をテーマにした講演活動を行っています。お話を聴いた園児たちからは、「SDGsのことを家族で考えていきたい。」「家でSDGsの体操をする。」「夜は早く寝て電気を大切にしていきたい。」「水を出しすぎないようにする。」といった感想がきかれ、さっそく地球を元気にするために自分たちができることを考えていました。



ことぶき勸学院 甲府 A・B 教室の新入生！

山梨ことぶき勸学院

山梨ことぶき勸学院は、県の生涯学習の最高学府として長い歴史を誇る「成人教育機関」です。今年度は峡東地区から新たに



12名の1年生が入学し、4月15日の入学式、4月22日(B教室)、5月6日(A教室)の開講式にのぞみました。令和2年度はコロナウイルス感染防止のために休講していた峡東教室ですが、令和3年度からは甲府教室との合同の形態で再開されました。それに伴って中北教育事務所が担当してきた甲府教室の運営協力を、峡東教育事務所で担うことになりました。これからの2年間で級友の方々と一緒に山梨の芸術や歴史などの様々な分野を学びます。また、学習成果発表会や勸学院祭などの楽しいイベントも行う予定です。コロナの状況により活動が制限される可能性もありますが、感染防止を徹底し、充実した学びの機会を確保する予定です。



災害に備えよう！～地震体験（起震車）&富士山を学ぼう（防災編）～

県立博物館（協力：山梨県立防災センター）あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば

笛吹市にある県立博物館では企画展「伝えるー災害の記憶」の関連イベントが企画されています。4月16日、17日、5月4日、5日には博物館職員駐車場において「起震車体験」が行われました。実際に地震の揺れを体験して、いざというときに備えることが目的です。多くの来場者が震度6強の地震の



事前に安全確保の方法を指示

揺れを体験しました

たが、強い揺れの中では自分自身の身を冷静に守ることはなかなか難しいものです。揺れが大きくなる前に「安全確保」をすることが重要となります。揺れ始めたときに「地震かな？」と思って周りを見回している間に揺れが激しくなってしまう、自分自身をコントロールすることが非常に困難になります。防災センターの方から事前に「机の脚を両手でつかむ・頭を腕の間に入れて机の下で頭部を守る・体を安定させるためあぐらを組む」という指示がありました

たが、見ているのと実際に体験するのでは印象が全く異なります。小学生は学校などで起震車体験をしていることもあり上手に身を守っていましたが、大人の男性は体格が大きいこともあり体を折り曲げることに苦勞していました。災害はいつ起こるかは分かりません。事前に身の守り方を知っておく重要性を再認識することができました。

また、県立博物館のあそぼう！まなぼう！寺子屋ひろばでは多くのイベントが企画されています。4月17日には「クイズ富士山を学ぼう（防災編）」が行われました。

平成16年6月に富士山ハザードマップが策定され、新たな科学的知見を蓄積しながら令和3年3月に改定がなされました。寺子屋ひろばではクイズ形式で、富士山の成り立ちやどの位の頻度で噴火が起こっているかについて説明がありました。富士山が噴火した



震度6強の揺れでは自分の身を守ることで精一杯

した場合、多くの自然災害が起こりますがその中でやっかいな存在となるのが「火山灰」とのことです。火山灰は細かくちぎれたマグマです。小さなガラスの塊であり、水に溶けることはありません。目の炎症や皮膚への刺激、上下水道や交通機関への影響など被害は非常に広範囲にわたります。また火山灰は「水に溶けない」「水を含むとセメントのように固まってしまう」などの性質があるため、処理する際にも注意が必要となります。火山灰の処理についてのクイズがありました。が、「側溝に流さずに、袋に詰めてまとめておく」のが正解とのことです。次に起きる富士山噴火がいつ、どんな規模の噴火になるのかわかりませんが、可能な限り危険を想定して備えることは防災の鉄則だそうです。「天災は忘れた頃にやってくる（寺田寅彦）」



火山灰の到達は非常に広範囲に渡る



ウイルスに負けない体づくり

甲州市塩山B & G海洋センター

甲州市塩山B & G海洋センターでは3月28日から4月1日まで、4歳から小学校6年生40名を対象に「ウイルスに負けない体づくり『免疫力と体力アップ』」をテーマに「春休み水泳教室」を開催しました。水泳（有酸素運動）は免疫細胞を活性化し体力もつく全身運動であり、参加した子どもたちはレベルごと4つのグループに分かれ、それぞれのコーチから具体的なアドバイスを受けながら、集中して、全身運動となるよう元気よく泳ぎ、体力アップにつなげていました。



コーチの指導を受ける
子どもたちの様子

図書館子どもまつり

山梨市立図書館

令和4年度は4月23日から5月12日までが「こどもの読書週間」となります。こどもの読書週間は1959年（昭和34年）に始まり、それにあわせて各図書館では子どもたちにたくさんのおはなしや新しい世界に出会ってもらうためのイベントが企画されています。

4月30日には山梨市民会館で「山梨市立図書館第37回図書館子どもまつり」が行われ、子どもたちと保護者42名が参加をしま



色紙選びは、なかなか悩みます

した。前半はボランティアグループ「くれよん」による読み聞かせが行われました。大

型絵本・瞬間変わり絵を用いた抑揚のある読み聞かせに子どもたちは釘付けでした。後半は「キラキラまんげきょうをつくろう！」が行われ、設計図を元に子どもたちが万華鏡を作成しました。思い思いの色紙を貼った万華鏡はバラエティに富んでおり、できあがった万華鏡を手にした子どもたちは笑顔に満ちあふれていました。保護者と一緒にひとつの作品を作り上げることができ、充実した一日となりました。



「くれよん」による読み聞かせで
元気にクイズに答える子どもたち



峡東教育事務所からのお知らせ

※ 峡東管内の全小中学校、県立学校の「異校種間 授業参観 可能日一覧表」と県立学校の「出前授業一覧表」を各学校に配布しました。地域内での活発な交流にご活用ください。また、年度末には一覧表の活用、および交流事業の実施状況の調査をさせていただき予定ですので、ご協力お願い申し上げます。

※ 新型コロナウイルスの影響で地域教育活動の自粛が続いております。取材がままならない状況もありますので、どんな些細なことでも構いませんので情報をお寄せください。取材を行いエリアウェブの記事として峡東地域に広く紹介させていただきます。

ご意見をお寄せください

『エリアウェブ』のご意見・ご感想・取材情報を担当一同でお待ちしています。右のQRコードをスマホのカメラから読み取り、メールでご連絡いただくか、表紙上部の連絡先にご連絡ください。

E-mail アドレス
kyoiku-hym@pref.yamanashi.lg.jp



お問い合わせ